

日南町



モンゴル友好新聞



No. 1

今年の五月に、増原町長を団長としたモンゴル訪問団（一〇名）がモンゴルを訪問しました。そして、モンゴル国中央県ゾーンモド町と「友好交流に関する覚書」を締結しました。モンゴル訪問の目的や日南町の抱える課題等についてお知らせします。

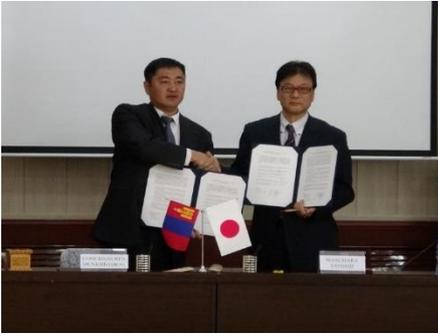
【働き手の不足】

少子高齢化が進む日南町では、働く人口が減少を続け、農林業・医療・福祉など仕事はあり、募集をかけるが働き手が見つからない。労働力不足が深刻な課題となっています。

今回のモンゴル訪問は、日南町の人材不足解消の方策の一つとしてモンゴルの方に日南町で働いていただく可能性を探るためのものです。

【なぜモンゴル？】

モンゴルと鳥取県は一九九七年に友好交流関係結び、昨年二十年を迎えました。



日本国鳥取県日南町とモンゴル国中央県ゾーンモド町との友好交流に関する覚書

日本国鳥取県日南町とモンゴル国中央県ゾーンモド町（以下「双方」という。）は、「日本国とモンゴル国との間の外交関係樹立」の精神と「日本国鳥取県とモンゴル国中央県との友好交流に関する覚書」及び「日本国鳥取県とモンゴル国中央県との友好交流に関する覚書締結10周年に係る交流促進に関する覚書」による友好交流関係に関する記載事項に基づいて、相互交流と友好関係の強化を推進することにより、共に発展することを目指して、以下の事項について合意する。

- 1 双方は、友好的かつ協力関係を構築するため、相互理解を深めるとともに、相互交流の幅広い実施について努力する。
- 2 双方は、経済、観光、文化、教育、医療、自然環境保護、職員派遣事業等の広範囲な分野における交流の促進及び協力について検討する。
- 3 双方は、この覚書を交わした後、具体的な交流事業や相互協力について、円滑な進行を確保するため、実務レベルでの窓口を定める。
- 4 本覚書に定めるもののほか、必要な事項については、双方協議の上、決定するものとする。

双方の代表者は、2018年5月28日、中央県ゾーンモド町において、日本語とモンゴル語で各2部作成した覚書にそれぞれ署名し、双方各1部を保管する。

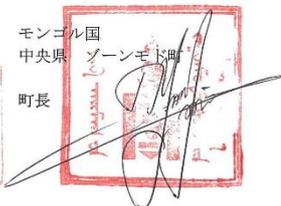
この覚書は、双方の代表者が署名した日から効力を発し、双方の協議によって解除されるまでの間、等しく効力を有する。

日本国
鳥取県 日南町
町長

増原 聡



モンゴル国
中央県 ゾーンモド町
町長



両県はこれまで農業・医療分野での支援のほか、青少年、スポーツ、文化等の幅広い分野での交流を行ってきました。そのような縁をきっかけに、モンゴルからの外国人労働力確保を検討したところ、モンゴル国内でも失業率が高く、労働条件のよい所を労働者が探している実情もあり、日南町の労働力不足とモンゴルの失業問題の二つを解決するお互いの利益が期待できるため、モンゴル中央県ゾーンモド町と「友好交流に関する覚書」を締結しました。

今後、文化的な交流・労働力の確保をはじめ様々な連携を図っていく予定としています。